

日時：平成19年3月19日（月） 17:30~18:30  
 場所：大阪弥生会館  
 講師：片山喜信（株式会社 コトー 部長）  
 （協力者：山田 誠（有）シグマエコスペック 代表取締役）  
 演題：生コンスラッジの再資源化  
 内容：



1. 実験の目的  
 スラッジ微粉末を用いた含水比調整効果の検証  
 スラッジモルタルによる固化材機能の検証

2. 生コン工場での廃棄物の処理・リサイクルシステム（図1）

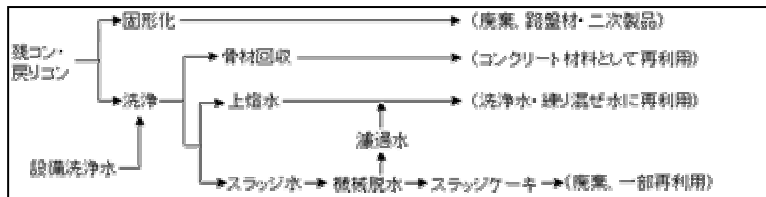


図1



3. 再資源化に向けて  
 スラッジ水の安定化を図る  
 変換式磁気共鳴装置  
 誘導分子攪拌現象（図2）  
 ダブル駆動式解砕機  
 打撃力による解砕（図3）

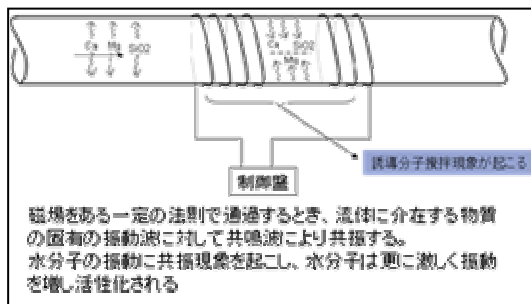


図2

**ダブル駆動式解砕機**  
**特長**

- ・ 打撃力による解砕  
 低強度のケーキの解砕が可能  
 扁平なものが出来ない  
（従来の圧力で押し砕く方式・・・ジョウタラシキ）
- ・ 用途に応じて分級メッシュを変更できる  
 塊状から粒状まで

図3

4. 試験結果  
 室内試験  
 モルタル供試体による一軸圧縮試験（図4）

試験結果

- ・ 含水比調整材としての効果  
 ...スラッジ添加によりコーン指数は改善される
- ・ 固化材としての利活用の可能性  
 ...今後も継続的な検証が必要

5. 今後の課題  
 スラッジケーキの物性と強度の継続的なデータの収集  
 固化材や粒度調整剤として利活用に向けた実験  
 使用用途の開拓及び生産体制・供給体制の整備

供試体作製条件		破 碎 材	材令 (日)	一軸圧縮 強度 (kN/m <sup>2</sup> )
供試体 作製時 の状態	加水量			
スラリー	140g/kg	6mmアンダー	4	1403.9
			7	2340.2
		2mmアンダー	4	315.6
			7	639.4
		2mmアンダー (6ヶ月経過)	4	365.9
			7	386.0

図4-1

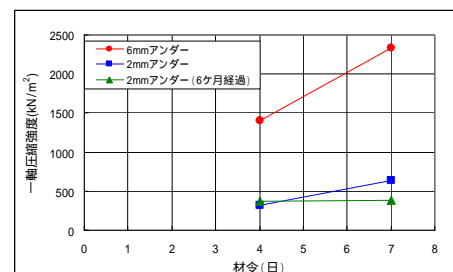


図4-2

この調査研究は、NPO COBRA の自主研究の中の一つであり、助成金を受け行ったものである。

質 疑：変換式磁気共鳴装置の理論・設定値についてや含水比調整効果の内容等について活発な質疑応答がなされた。

参加者：会員21名、非会員5名、合計26名

資 料：資料が必要な方は、下記に連絡ください。

担当：鈴木 TEL: 03-3872-6064 e-mail: [k.suzuki@kotohcorp.co.jp](mailto:k.suzuki@kotohcorp.co.jp)